

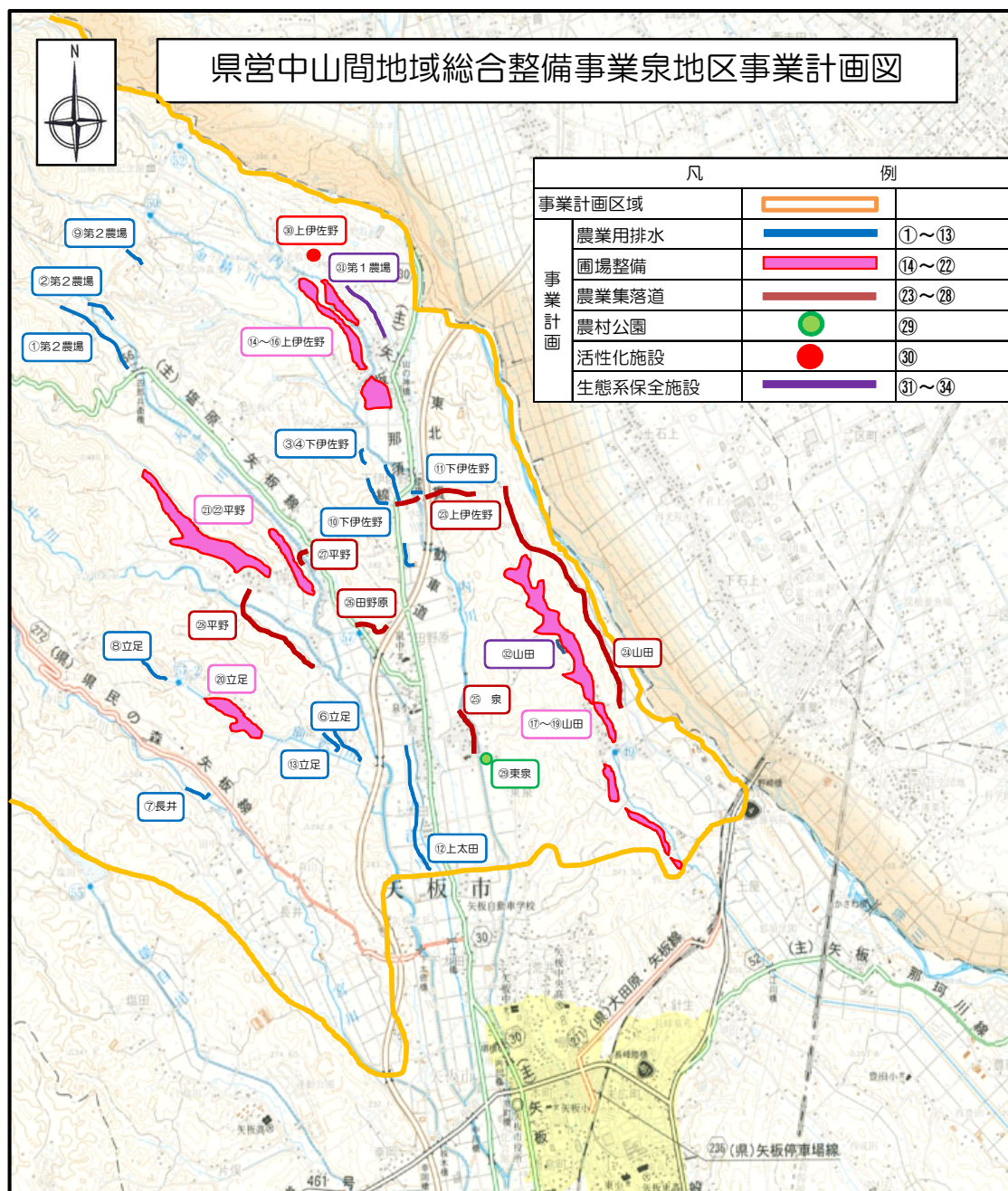
# 県営中山間地域総合整備事業 泉地区（平成20年3月完成）

資料6-②

## 1. 事業概要

本地区は矢板市北部に位置し、複数の河川が地区を縦断しその清流に挟まれるように広がった豊かな自然環境のある地域であるものの、農業生産基盤及び農村生活環境の整備が未実施で平地に比べて不利な条件にあるため、以下の整備を行いました。

- ◆ 事業名：県営中山間地域総合整備事業
- ◆ 事業箇所：矢板市
- ◆ 受益者数：214戸
- ◆ 主要工事：農業生産基盤整備事業  
ほ場整備 78.8ha（4地区）、農業用排水路整備 6.3km（12地区）  
農村生活環境整備事業  
集落道整備 5.9km（6地区）、活性化施設整備 1力所  
農村公園整備 1力所、生態系保全施設整備 4力所
- ◆ 総事業費：23.8億円
- ◆ 事業期間：平成14年度～平成19年度
- ◆ 事業主体：栃木県
- ◆ 受益面積：144.7ha



## 2. 事業の目的

本地区は農業用排水路やほ場が未整備であることに加え、農業従事者の高齢化や後継者不足とともに過疎化や農地の荒廃が進行している状況であった。

このため、農業生産基盤整備、農村生活環境整備を総合的に行い、営農の効率化・地域の活性化及び農村環境の改善を図っていく。

## 3. 事業の整備効果等

### 【事業費等の変化】

#### ① 受益面積

土地利用の変化を踏まえ、144.7haに係る農業生産基盤を整備した。  
147.6ha（採択時）⇒ 144.7ha（完成時）

#### ② 総事業費

ほ場整備の整備面積の減や農業用排水路及び集落道の延長の減に伴い、総事業費が減となった。  
25.3億円（採択時）⇒ 23.8億円（完成時）

### 【営農の効率化】

#### ① 労働時間の短縮

農地の集団化及び区画の拡大等により、大型機械の導入も進み作業の効率化が図られ、ほ場整備実施地区における水稲にかかる労働時間が約54%短縮された。

〔労働時間の変化〕（農家聞き取り）

水稲：68hr/10a（整備前）⇒ 31hr/10a（整備後）〔54%減少〕

#### ② 維持管理の節減

ほ場等の整備により、土砂浚いや草刈り等の労力は大きく軽減された。また、揚水機の統廃合もされて施設にかかる維持管理費が圃場整備地区で約23%節減された。

〔維持管理費の変化〕（代表地区、改良区聞き取り）

ほ場：5.3千円/ha/年（整備前）⇒ 4.1千円/ha/年（整備後）〔23%減少〕

#### ③ 耕地利用率の向上

ほ場整備実施地区では、用水の安定供給や排水改良等により栽培条件が改善されたことで、耕地利用率が約19%向上した。

また、農地の集団化及び区画の拡大等により、ほ場への大型機械の導入が可能となり、集落営農組織が設立されるなど効率的な生産体制が可能となった。。

〔耕地利用率〕（改良区の調査より）

79%（整備前）⇒ 98%（整備後）〔19%向上〕



ほ場整備実施前（立足地区）



ほ場整備実施後（立足地区）



大型機械の導入（平野地区）



集落営農組織の設立（山田地区）

④ 適切な水管理

農業用水路整備により、用水の安定供給など水管理の改善がなされた。また、排水路整備により、降雨時の溢水など排水不良の解消が図られた。



農業用排水路整備前（第2農場地区）



農業用排水路整備後（第2農場地区）

⑤ 利便性の向上

集落道整備により、地域住民の通勤・通学はもとより、集落間のアクセスなど利便性が大幅に向上した。また、農産物輸送・農作業の効率も向上した。



集落道路整備前（平野地区）



集落道路整備後（平野地区）

【地域の活性化】

活性化施設の整備により、地域活性化活動の拠点となっている。

〔施設利用率の変化〕（矢板市役所から聞き取り）

144%（H18）⇒ 153%（H24）※当初計画利用人口を100%とした場合



活性化施設（上伊佐野地区）



山ゆりの会による農産物加工（加工実験室）



地域懇談会（研修室）



地域住民による夏まつり

既存農村公園の隣接地に設けた多目的広場では、主に地域の高齢者によるグランドゴルフに利用され、地域住民の交流及び憩いの場となっている。

〔施設利用状況〕

2集落のチーム（約20名）があり、それぞれ周2、3回行われている。また、年2回（春・夏）の東泉集落感謝祭を開催して毎回80～100名が参加。



多目的広場（東泉地区）



地域の高齢者によりグランドゴルフに利用

【生態系配慮の取り組み】

本地区の恵まれた生態系を保護するため、ホテルや魚類等の生息環境に配慮した水路として整備したことで、地域住民の憩いの場として活用するとともに、環境意識の高揚が図られた。また、最近になってはホテルが飛び交うようになった。



魚巣ブロックを設置した水路（山田地区）



生き物調査（上伊佐野地区）

#### 4. 事業により整備された施設の管理状況

ほ場や農業用排水施設は、地域受益者により除草や土砂浚い等を行い、適切に管理されている。集落道や活性化施設及び農村公園は、矢板市が管理者となって適切に管理を行い、日常の除草及び清掃等は域住民や利用者が行っている。



地域住民による清掃活動（上伊佐野地区）



地域受益者による除草作業（上伊佐野地区）

#### 5. 事業実施による環境の変化

ほ場整備をきっかけに集落営農組織が設立され、農地の維持保全とともに、経営の安定化が図られており、年度内の法人化を目指している。集落道整備においては、通勤・通学など日常生活の利便性が向上している。

また、活性化施設や農村公園の利用・管理を等して、地域住民のコミュニケーションや地域活動力が高まってきている。

#### 6. 社会経済情勢の変化

特になし

#### 7. 地域住民からの主な意見

##### 【ほ場整備】

- ・農地の区画拡大や道路が整備され、大型機械の導入や作業効率が良くなった。
- ・用水量が安定し水管理が容易になった。湿田が改善された。
- ・草刈り等の作業が容易になったが、畦畔や水路の法面が増えて草刈の負担が増えて大変困っている。
- ・耕作放棄状態の農地も作付け可能な圃場が変わり、事業効果の大きさを実感している。
- ・ほ場条件の改善により、経営規模拡大も進んだ。作業委託がスムーズになった。
- ・現在は、営農組合を作り先行きは法人化を予定している。

##### 【農業用排水路整備】

- ・水管理、草刈り、土砂浚い等の維持管理の労力等が大きく改善された。
- ・用水の安定供給が可能となった。また、計画的な作付け及び農作業ができる。
- ・排水が良くなり、麦なども作付け可能となる。また、降雨時の溢水もなくなった。

##### 【集落道整備】

- ・日常生活の利便性及び農作業の効率も向上した。地域のアクセスが良くなり、近隣市道の交通緩和に繋がっている。
- ・大型車両の通行も多くなり、通行量も増えて心配である。併せてごみの投げ捨てが増えて困っている。
- ・ガードレールが設置され危険がなくなった。道路舗装により埃が立たなくなった。

##### 【活性化施設整備】

- ・農産物の加工販売、地域住民の交流、各種会議等に利用され、十分活用されている。
- ・地域行政区が中心となり当番制にて清掃、施設の管理を行っている。
- ・地域活性化の拠点として有効利用されており、今後更に地域発展の礎になると思うので過疎等に苦しむ中山間地域の発展のためにも事業をより高度化して推進して欲しい。

#### 【農村公園整備】

- ・主に地域の高齢者によるグランドゴルフや年2回の東泉集落感謝祭りに利用されている。さらに、幅広い利用を願っている。
- ・グランドゴルフ愛好者には健康維持と親睦の高揚に、感謝際には地域住民の交流の場となっている。
- ・行政区単位の回り番で公園の清掃、草刈り等の公園管理を通して「地域活動力」を高めている。また、多目的グランドはグランドゴルフ愛好者の除草作業等が行われている。

#### 【生態系保全施設整備】

- ・維持管理については草刈り、水管理は大変楽になりました。
- ・最近ではホタルが飛び交うようになった。
- ・水門の所に魚道ができたので、魚が上れるようになった。

#### 8. 今後の課題等

- ・整備された農地・水利施設等を有効活用し、若者が就農したくなる魅力ある農業経営を確立させる。
- ・女性や高齢者の能力を活用し、地域の特徴を活かした農産物生産・加工などの取組を発展させる。
- ・中山間地域のもつ魅力を都市住民に発信するとともに、都市住民との交流を促進する。

栃木県農政部農村振興課

TEL : 028-623-2334 FAX : 028-623-2337

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

E-mail : [noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp](mailto:noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp)

